新しい「もりりん」のスタートに向けて

私たちは毎日、山を見ながら暮らしていますが、本当は、山や森にたくさんまもられているんです。これからはじまる「もりりん」で山や森のことを紹介していきます。

高知県は「84の森」ってよくいっているけど、どういう意味？

森林のわりあい（森林率）が84％で日本一なのよ。※1

その中で、人の手で育てられている森はどのくらいあるの？

だいたい65％で日本で二番目に高いんだよ。※2

※1 森林率の全国平均は67％です。ちなみに、二位は81％の岐阜県です。

※2 人工林率といい、全国平均は41％です。ちなみに、一位は67％の佐賀県です。

元気な森であり続けること

私たちが暮らす日本は、人口が多く、工業がさかんな国としては、およそ3分の2の面積が森という、世界でもめずらしい国です。これは、昔から人びとが森を大切に育てながら、生活に利用してきたおかげです。

そして、森のはたらきによって、川や海は豊かになり、自然災害も起きにくくなっています。元気な森をまもり育てることは、自分たちの暮らしをまもることにもつながるのです。

森のはたらきと私たちの暮らし

木が元気に育ち、生きものがたくさんすんでいる森は、目に見えないところでさまざまなはたらきをしています。たとえば、土砂くずれなどを防いだり、降った雨を少しずつ川へ流したりすることで、安心して暮らすことができます。

また、育て伐られた木は、家を建てたり、木の製品をつくったり、新しいエネルギーになったりすることで、暮らしの中で役立っています。

元気な森をまもる人たち

暮らしをまもってくれる元気な森が育つためには、雨や日光など自然のチカラも必要ですが、人の手によるお世話をすることが大切です。

特に、人が木を植えて育てるスギやヒノキの森は、草刈りや間ばつといった手入れが欠かせません。その手入れをしている、山のしごと（林業）をしている人たちや、ボランティアさんたちのおかげで、元気な森がまもられているのです。

森のために私たちができること

私たち一人ひとりが、森の中に入って、手入れをすることはむずかしいですが、生活の中にも、森をまもるためにできることがあります。

森のことを学び、知ることができる山のイベントに参加したり、森をまもる活動に募金したりすることや、木のグッズや家具を買ったり、木の家を建てたりすることで、木材を使うことです。これらはすべて、元気な森をまもる人たちを手助けすることにつながるのです。

「もりりん」で山や森のことをいっぱい知ってほしいな。これからも続けて読んでね！

「もりりん」で伝えること

生活のなかでできることをしよう

森は元気じゃないといけない

どうして？

「ふれて」
森で遊ぼう、山のイベントに行ってみよう

「知って、学んで」
森でいろいろな体験をしたり、森のことを学校などで学ぼう

「守って、使って」
森を整備しよう、木を使おう

山のイベントに参加、森をまもるための寄付、木のグッズや家具を買ったり、木の家に住むなど

森はいろいろな役割りをしているよ

次世代に残そうみんなの森

森林環境税を使って、間伐を進めたり、シカの被害をふせいでいるよ

どうやって守る？

山のしごとをしている人やボランティアさんの活動も大切なんだ